

## ノイエスだより

ノイエス朝日(朝日印刷工業株式会社)

群馬県前橋市元総社町七三-15

TEL 027-2555-3434

FAX 027-2555-3435

http://www.neues-asahi.jp

先日、ノイエス朝日で開催した「ふる本市」に来場された方と「本を読む人・読まない人」の話になりました。

ネット社会、情報社会になり、出版業界の低迷と言われる中、日本人の読書量は、どの程度なのか調べてみると一週間で四、一時間(二九位)だそうです。第一位はインドの一〇、七時間、二位タイ、三位は中国の八時間。ロシア、フランス、ドイツ、アメリカ、イタリアなどが続きます。少し前のデータらしく、現在ではだいぶ変わっていると思います。それにしても「活字離れ」は現実的におきています。

ノイエスに来廊してくださる作家の方々も本好きの方が多く、その知的好奇心が旺盛で、深い思考を意識的に持ち「書棚」の前で一時間近く選書している姿に感心させられました。

家には山のように積まれた「本」が、そして書棚にぎっしりと入っている本があることだと思いますが、気に入った「本」を数冊抱えてお帰りになりました。

専門書から小説(純文学・ミステリー・冒険・歴史・時代・社会・ファンタジー)、実用書など、とにかく幅広い分野があります。

そもそも「読書」とはマイペースで上手く取り込んで趣味嗜好で良いもので、必要な時に、読みたい時に……それが日本人の一週間に四、一時間という数字になっているのかもしれない。

また、一年で一〇〇冊、二〇〇冊以上を読むという読書家もいます。数を読めば良いというわけではありませんが、現実を読み込む「力」が蓄えられ、全体像が見渡せる「力」がつき、それはザルに水を流し続け「苔」がつき始めることに象徴されるようなものに思えます。

先日、NHKスペシャル「人体 神秘の巨大ネットワーク」を見て「臓器間のやりとり」に驚きました。これまでの脳が司令塔となって各臓器に命令を出して体内をコントロールするという考えが、この番組では、各臓器は独自にそれぞれの物質を放出して血管や神経を通じて他の臓器や細胞と直接やりとりをするという……。そして、人体の重さの七割をしめる「脂肪」と「筋肉」では脂肪が放出するメッセージ物質がとても重要であるということです。脂肪も重要か……と人間ドックの送られてきた検査結果を見て数字とにらめっこ。

自分の身体を知り、多少は数字も読めるようになるには、数冊の本に目を通してみるのも……と、目下少し勉強中です。

(武藤)

## ノイエス朝日(展覧会)のご案内

## 斉藤かほる作品展 (企画)

― 出逢い ―

会期 十二月二日(土)～十日(日)

午前十時～午後五時

会場 ノイエス朝日 スペース1・2

四年ぶりのノイエス朝日での個展です。新作、大作から小品、アクセサリーの七宝作品をはじめ、今回は七宝以外の作品も展示いたします。精力的に制作活動をしている斉藤かほるさんの「出逢い」に込める作品の数々をご高覧下さい。

## 陶芸展『セラトピア』 (企画)

― 生活に楽しさを ―

南雲 龍 南雲龍比古 今井 彰

南雲 聖 南雲龍人 南雲龍生

会期 十二月十六日(土)～二十四日(日)

午前十時～午後五時

会場 ノイエス朝日 スペース1・2

六名によるセラミック作品の楽しさ、実用性を手に触れてみて下さい。ピザ窯など珍しい作品もあります。

年末、年始にかけての家族、友人との食事会やクリスマスプレゼントにも「作家作品」を一点持参するのも、ちよつと新しい試みかもしれません。お誘い合わせの上、お出かけ下さい。

☆ ☆ ☆

ノイエス朝日は、展覧会会期中以外は休廊しています。お問合せにつきましては、会期中にお電話下さい。

## 二〇一八年 新春特別企画

## 「かがやく石川のKŌGEI」展

日本工芸会石川支部

川北浩彦(木竹工) 吉田幸央(陶芸)

坂本康則(漆芸) 荒川文彦(漆芸)

多田幸史(陶芸) 四ツ井健(染色)

来年のノイエス朝日、新春特別企画「かがやく石川のKŌGEI」の二作家のご紹介です。



四ツ井 健 日本工芸会正会員 友禅

1962年8月 石川県金沢市に生まれる  
1994年6月 第35回石川の伝統工芸展・奨励賞  
2002年6月 第43回石川の伝統工芸展・日本工芸会賞  
2003年6月 第44回石川の伝統工芸展・奨励賞  
2004年6月 第45回石川の伝統工芸展・奨励賞  
2006年9月 日本工芸会正会員に認定  
2007年3月 第41回日本伝統工芸染織展・北國新聞社賞  
2009年3月 第43回日本伝統工芸染織展・日本経済新聞社賞  
2014年3月 第48回日本伝統工芸染織展・東京都教育委員会賞  
2015年5月 第56回石川の伝統工芸展・NHK金沢放送局長賞

石川で友禅染を行っており四ツ井と申します。友禅染とは糊を防染材料として色を染分けし布地にデザインを描く染色方法です。友禅染も生産性向上の為に多くは分業形態で作られています。私の工房では全ての工程を自身で行い目の行き届いた工芸作品として一点一点制作しています。友禅染というと着物や帯が主なものになります。今回は額装したものや小さな袋物などの展示も致します。日常のちょっとした贅沢な時間を楽しんでいただけると幸いです。

四ツ井 健

(裏面へ続く)



**吉田 幸央**

- 1960年 石川県小松市生まれる
- 1985年 朝日陶芸展奨励賞
- 1991年 高岡クラフト展奨励賞
- 1992年 伝統九谷焼工芸展大賞
- 1994年 高岡クラフト展金賞
- 1997年 国際色絵陶磁器コンペティション97九谷準大賞  
第23回長三賞陶芸展奨励賞
- 1999年 国際陶芸ビエンナーレ99特別賞
- 2000年 第2回現代茶陶展TOKI織部銀賞
- 2009年 伝統九谷焼工芸展大賞
- 2010年 日本伝統工芸展高松宮記念賞
- 2013年 現代の日本工芸展 (米国森上博物館)  
日本伝工芸展60回記念「工芸からKOGEIへ」展  
(東京国立近代美術館工芸館)
- 2014年 第19回MOA岡田茂吉賞展 (熱海市MOA美術館)

私の家業である錦山窯は、およそ一一〇年の間、九谷が育んできた様々な金彩技法を継承し作陶を営んでまいりました。その過剰なまでに紋様や描き込んだ、九谷焼ならではの繊細で濃密な美の世界に幼少の頃から反発を覚えながらも、先人が大切に守り育んできた金彩の美しさにいつの間にか引き込まれ、現代の生活スタイルの中に新しい表現として持ち込みたいという思いから長年制作に打ち込んで参りました。職人達の手で守り育まれてきた九谷の美の一端を、新しい表現を通して感じ取っていただき、その魅力を再発見していただけたなら望外の喜びです。

吉田幸央

\* \* \*

三回にわたり「ノイエスだより」でご案内してきました二〇一八年新春特別企画「かがやく石川のKŌGEI」で六作家のご紹介をさせていただきました。

新春に相応しい石川の作家たちの鍛錬した作品の数々をお楽しみいただけるものと思います。

今回の「ノイエスだより」では、作家在廊のご案内もいたしますので、ご来廊の折には是非お気軽に会話を楽しんでいただければと思います。今年も残すところ一ヶ月となりました。

毎日の体調管理は、気を抜かず「食・運動・精神のバランス」を少しでも心がけて下さい。

そして、少しのお時間が出来ましたらノイエスにお出かけ下さい。

スタッフ一同、お待ちしております。



**DIPS.A news**

Vol.51

TEL 027-254-1212



**PU R製本のおはなし**

**オンデマンド印刷**

「お客様が必要とする  
「品質・部数・納期」に  
お応えする印刷です！」

ということは、たびたび紙面でお伝えしましたが、今回はオンデマンド印刷で活躍する当社の製本機をご紹介します。

印刷工場や製本工場にある製本機は、かつては大変大きなもので、仕上がりサイズやページなどによって設定しなくてはならない作業も大変難しく、さらには調整したり失敗したりした時のための予備が必要など、捨てる紙も多く、部数が少ないと金額も割高になってしまいうるものでした。現在も部数の多いものももちろんそういった大きな機械を動かしますが、少部数の場合は半手動で製本できる小さなマシンを使います。そして、当社にあるその小型マシンの中でも、PU Rという、従来の糊とは違う糊を使うものの需要が高まりつつあります。PU R糊の特徴は、大きく4つあります。

**1. よく開く**

従来の糊よりも柔軟性と強度に優れているため、分厚い冊子でもしつかり綴じられてしかもキレイに開きます。

**2. 丈夫で熱に強い**

耐熱性・耐寒性に優れ、硬化する際の時に湿気と反応して接着力が出る特質から、どんな紙でも紙質が混ざっていても、ほかの接着剤よりも良く製本できます。

**3. 環境にやさしく劣化しにくい**

硬化前は比較的低温で溶ける糊なので消費電力が少なく、丈夫なので塗布量も薄くて済み、リサイクル時に紙と分離しやすいので環境にやさしいため、PU Rを使った製品は「エコマーク」を取得することができます。



**4. インキによって劣化しない**

従来の糊は冊子のノド部分(綴じられている部分)にインキが使用されていると(見開きのイメージなど)、製本時に熱で化学変化を起こして劣化が始まるとされてきましたが、PU Rはインキ溶剤で化学変化を引き起こすことがないので基本的には劣化しません。

このように記すと、いいことばかりのようですが、当社にあるマシンは一冊ごとに手でセットするタイプのものなので、大量生産には向きません。そして、部数が多ければ割安になるというものでもありませんのでご注意ください。



実際に手に取って製本の状態を確かめたい方は、ぜひディップス朝日店頭でスタッフまでお問い合わせください。さらに、トコトワ製品でもPU R製本を使ったノートなどを製造・販売しております。実際に使用してみたいという方は、そちらもお試しく下さい！